

6月の中小企業月次景況調査

〔令和2年6月末現在〕



全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

令和2年7月27日発表

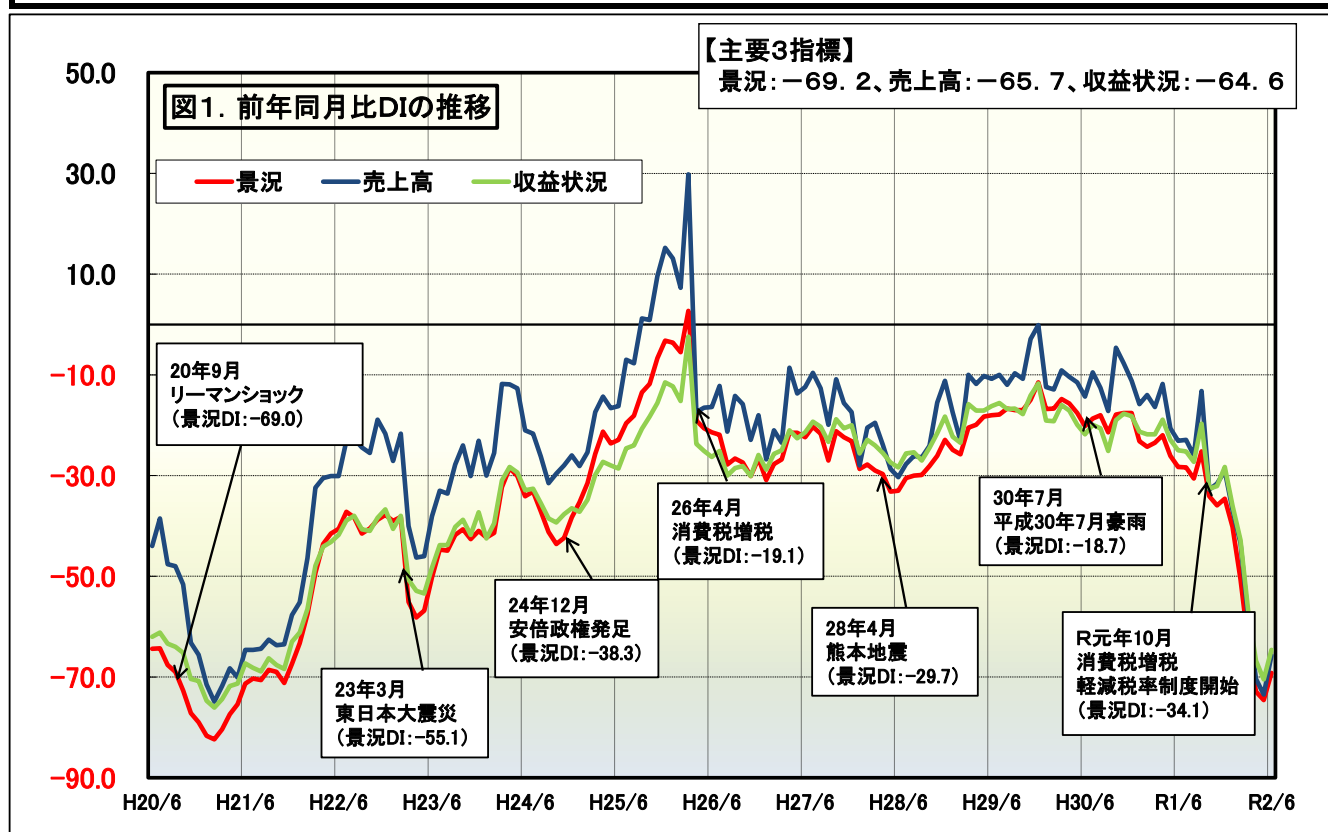
◎6月のDIは全9指標中、8指標が改善。

○新型コロナウイルスの発生により、2月以降、ほとんどのDIは大きく悪化していたが、緊急事態宣言の解除による経済活動の再開により、上向き傾向が見られる。

また、各種補助金や緊急融資の効果も寄与しているものと思われる。

○ただし、DI数値は引き続き停滞しており、回復とは言い難く、足元の感染者が増加していることから、再び経済活動が停滞する懸念もある。

○業種を問わず、新型コロナウイルスの影響が長引くにつれ、経営が圧迫され、先行きを不安視している声も増えている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当：政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

6月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

1. 6月のD Iは、全9指標中、8指標が改善。主要3指標は、景況5.4ポイント改善、売上高7.8ポイント改善、収益状況5.9ポイント改善した。
2. 景況D Iは4月の緊急事態宣言発出前の水準まで戻す結果となった。また、補助金や緊急融資等により、資金繰りD Iは上向いている。一方で在庫数量は改善が見られない結果となった。
3. 新型コロナウイルスの拡がりは収束が見えていないため、先行きへの対応の不安や見通しがつかないという心配のコメントが多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

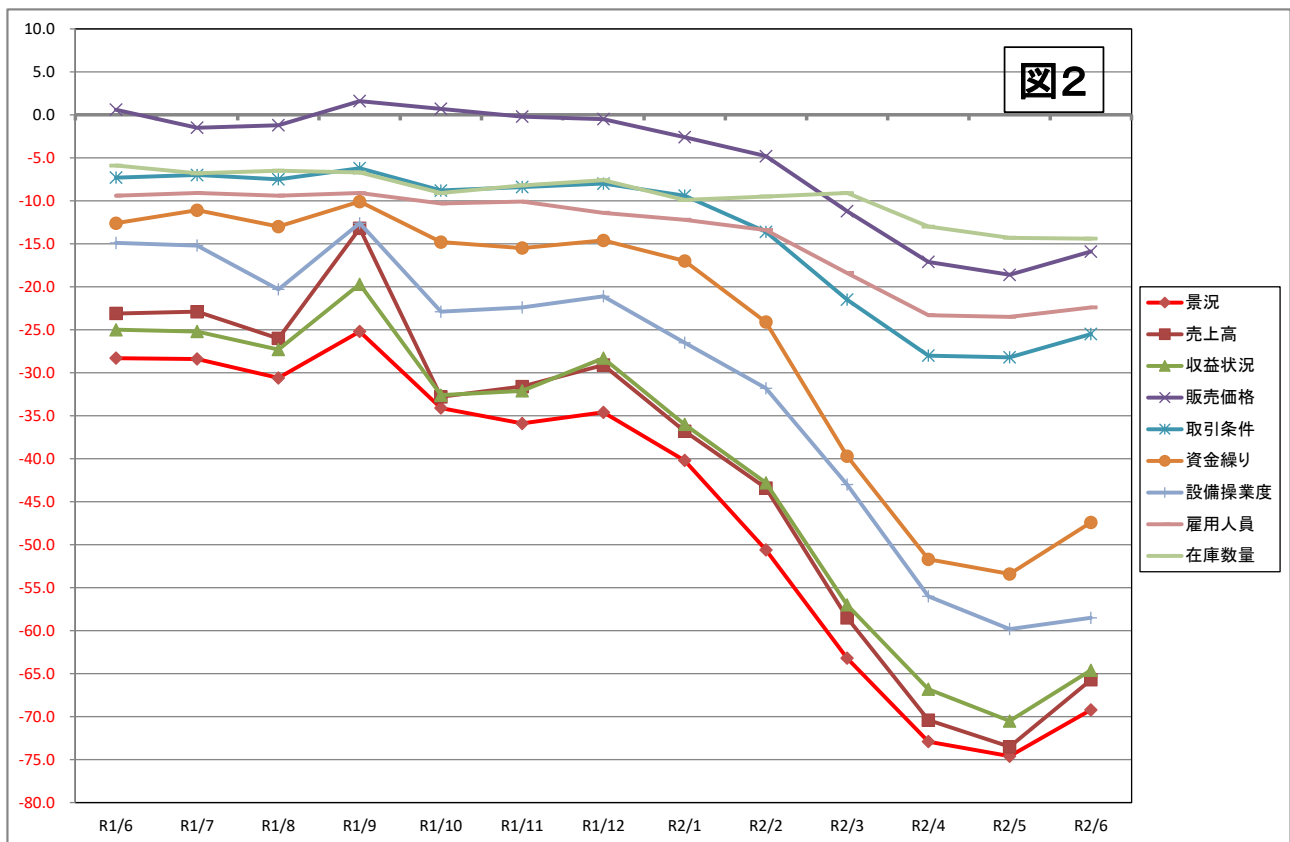


表1	R1							R2						前月比
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
景況	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-50.6	-63.2	-72.9	-74.6	-69.2	5.4
売上高	-23.1	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-43.4	-58.5	-70.4	-73.5	-65.7	7.8
収益状況	-25.0	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-42.8	-57.0	-66.8	-70.5	-64.6	5.9
販売価格	0.6	-1.5	-1.2	1.6	0.7	-0.2	-28.3	-2.6	-4.8	-11.2	-17.1	-18.6	-15.9	2.7
取引条件	-7.3	-7.0	-7.5	-6.2	-8.8	-8.4	-8.0	-9.4	-13.6	-21.5	-28.0	-28.2	-25.5	2.7
資金繰り	-12.6	-11.1	-13.0	-10.1	-14.8	-15.5	-14.6	-17.0	-24.1	-39.7	-51.7	-53.4	-47.4	6.0
設備操業度	-14.9	-15.2	-20.3	-12.6	-22.9	-22.4	-21.1	-26.5	-31.8	-43.0	-56.0	-59.8	-58.5	1.3
雇用人員	-9.4	-9.1	-9.4	-9.1	-10.3	-10.1	-11.4	-12.2	-13.4	-18.4	-23.3	-23.5	-22.4	1.1
在庫数量	-5.9	-6.8	-6.5	-6.7	-9.1	-8.2	-7.6	-9.9	-9.5	-9.1	-13.0	-14.3	-14.4	-0.1

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 全9指標中、8指標が改善。
2. 緊急事態宣言が解除され経済活動が再開されたとはいえ、改善しているというコメントは少なく、先行きの見通しを不安視するコメントも多い。一方で新商品の開発他、前向きな取り組みも見られる。
3. 外出自粛等で営業活動や展示会が中断されていたため、先行きの受注を確保できていないという報告も増加している。製造業を中心に大企業やサプライチェーンの生産抑制・停滞による影響を大きく受けているという、多くの中小企業者の声も引き続き多い。

《主な報告内容》

◇新型コロナウイルス環境下における新しい前向きな取り組み・工夫

- ・組合員の中には、抗菌マスク等、対コロナ関連商品の開発により業績回復への期待が大きい先もある。（岐阜県／機械すき和紙）
- ・DM関連や衛生紙関連は大幅な伸びを示している。総じて紙製品は産地間競争において勝ち組の企業が多く、このピンチをチャンスととらえて自己改革を断行している。（愛媛県／紙製品）
- ・当初、本業種は対象外であったが、追加要望したところ、本業界を含む全業種へと拡大することとなった。団円で要望したことにより一定の成果を得ることができた。（鹿児島県／印刷・同関連業）
- ・大手企業の新卒・中途の採用が鈍くなっている中で、業況は厳しい時だが将来を見越し積極採用を検討している。（岡山県／工作機械）
- ・6月中旬から下旬にかけて、来年の正月、節句商戦に向けた展示会が行われたが、新型コロナウイルスの影響を受けて、来場者への対面だけでなくメールや電話を使った営業を行っている。（埼玉県／人形小売業）
- ・夏のイベント等がすべて中止で人の流れが商店街に向かってきていない。6商店街連合会で「コロナ対策プレミアム商品券」を計画中。（高知県／商店街）
- ・全国団体が「新型コロナウイルス感染予防ガイドライン」を作成した。その対策内容を分かりやすくまとめたハンドブックを作成する予定。（東京都／一般公衆浴場業）
- ・県の休業と営業時間の短縮要請が解除され、組合では上部団体のガイドラインに修正追記を行い、組合独自の『宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン』を策定し、全組合員へ配信した。（沖縄県／ホテル・旅館業）

◇新型コロナウイルスの業況への影響

- ・組合主力のゆかたの販売が停滞し、中間仕掛在庫、製品在庫が製造元・卸問屋に年間生産量に匹敵する在庫が残る結果になりそうだ。7月以降は、今のところ受注も無く、至急の対策が必要な状況。（静岡県／織物業）
- ・売上を大きく落としている組合員が多く、在庫が積みあがっている。様々な業種で需要が消失しており、回復するには相当な時間がかかると思われる。（群馬県／紙製容器製造業）
- ・新型コロナウイルス関連では、一部に取引先の生産縮小による受注減や営業活動の自粛を余儀なくされるなど、徐々に業況に影響が出はじめている。（高知県／金属製品製造業）
- ・受注が減少している。一部の製造ラインを休止し稼働を緩めている。新型コロナウイルスの緊急支援策を活用することで、なんとか資金繰りを安定させている組合員がいる。（東京／機械工具製造業）
- ・新型コロナウイルスの影響が鮮明に表れ、リーマンショック以来11年ぶりの低水準となった。雇用は人手不足から一転して過剰となり、非正規雇用を中心に減る方向である。（愛知県／輸送機器）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。